



株式会社マミーマート 生鮮市場TOP柏の葉店 他県内22店舗

経営方針のひとつに『社員一人ひとりの発想が社会に活かせる「元気」な組織づくり』を掲げるマミーマート。育児中の従業員に安心して働いてもらうための制度改正や、約500名の外国人従業員に対する手厚いサポート、さらには共生社会の実現に向けた活動などに全力で取り組んでいます。

動画はこちらから



事業概要

スーパーマーケットチェーン

設立

昭和25年(1950年)

代表

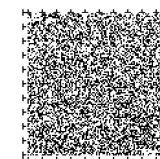
代表取締役社長 岩崎 裕文

所在地

柏市十余二380-35 中央211街区13 他

従業員数

1,953名



両立支援

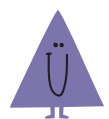


収入100%補償と短時間勤務の延長により育休の不安を解消

従業員満足度を高め定着率の向上を図るため、子どもが1歳になるまで育児休業前の収入を100%補償する「子育て応援推進手当制度」を導入。さらには「短時間勤務の適用範囲がもう少し広いと助かる」という従業員からの要望に応え、育児短時間勤務制度の対象年齢を小学校6年生までに延長。子育てと仕事の両立に向けた独自の支援制度を整備しています。



先駆的取組



日本で活躍する外国人従業員の生活をまるごとサポート

約500人の外国人を雇用しているマミーマートでは、技能実習生と特定技能外国人への手厚いサポートを提供してきました。生鮮市場TOP柏の葉店においても13名のベトナム人が勤務しており、技能実習生の採用に際しては集合研修や日本語勉強会による人材育成のほか生活全般を支援。帰国した卒業生とも現地でOB会を開くなど、良好な関係性を継続しています。



社会貢献



補助犬の啓発活動と募金活動により共生社会の実現に貢献

「誰一人取り残さない共生社会」の実現を目指し、補助犬に関する啓発活動、募金活動を行うとともに、全店舗の店長等を対象に日本補助犬協会主催の「心のバリアフリー検定」の社内講習等を実施し、全店舗の店長が受講。さらには、来店したお客様に補助犬への理解を深めていただくための「補助犬ふれあいイベント」を店舗にて開催しています。



受賞事業所インタビュー

Award Recipient Interview

帰国後に「またマミーマートで働きたい」という卒業生も

人事部 ダオ ハー氏



Q1 ハーさんご自身が来日して苦労したことは？

一番苦労したのは、日本語と日本特有の細かいルールでした。だからこそ技能実習生の苦労をできるだけ軽減できるよう、日本語の勉強をはじめ生活全般をサポートしてあげたいと思っています。一人で日本に来て一人で生活している後輩たちが安心して実習に集中できる環境を提供することも、私たちの役割と認識しています。

Q2 実習生からの反響は？

実習生とは卒業後もつながりがあり、卒業生の家族や友人がマミーマートの技能実習に応募するといったケースもたくさんあります。また、ベトナムに帰国した卒業生から「またマミーマートで働きたい」という声を聞かせてもらうこともあります。新しい人材確保につながる点も素晴らしいと思います。

Q3 これからの目標は？

技能実習制度が育成就労制度に移行しても、これまでと同じく外国人が日本で安心して働けるようサポートしていきたいと考えています。そして、特定技能1号、2号へのキャリアプランを明確に示しながら、少しでも長く働いてもらえる体制を築いていけたらうれしく思います。

社員の声

Employee Voices

Voice 01

親身に支えてくださる皆さんはとても心強い存在です

生鮮市場TOP柏の葉店 惣菜部門 ラム ミさん



日本にはゴミの分別など細かいルールがたくさんありますので、間違えて迷惑をかけてしまわないかととても不安でした。職場の皆さんはそうした生活面まで支えてくださり、私が病気になったときも親身に付き添ってくれました。外国で働く私にとって、これほど心強いものはありません。

Voice 02

意識が変わることで見えるようになったものがあります

生鮮市場TOP柏の葉店 店長 太幡さん



バリアフリー検定を通じて、車椅子の方の目線で、通路幅はどれくらい確保したら通りやすいか、重い商品をなるべく低い位置にできないか、とお店づくりを考えられるようになりました。そのような意識を持つことで、実際にお困りになっているお客様を発見しやすくなったと感じています。

